

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	卒業研究Ⅱ	小林 俊哉	2 年次	秋

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、新聞、論文執筆
授業の概要	新聞の実情、可能性、問題点や課題など、マスコミ全体についての学習を続けながら、研究論文を完成させます。
期待される学習成果（目標）	1. マスメディアに関する広い知見を持ち、賢明に使いこなすことができる。 2. マスメディアに関するテーマについて深く掘り下げ、専門的な知識を有する。 3. マスメディアに関するテーマについての論考をゼミ論文という形式で表現できる。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	新学期を始めるあたり、予定や作業日程の確認をします。またゼミ論文のテーマの最終確認を行います。	第 9 講	ゼミ論中間発表	現時点での論文の成果を発表、お互いに責任を持った研究仲間として今後の執筆に資することのできるような指摘をおこないます。
第 2 講	論文の書き方	「論文」の具体的な構造、テーマの発展の仕方などについて詳しく指導します。	第 10 講	ゼミ論中間発表	現時点での論文の成果を発表、お互いに責任を持った研究仲間として今後の執筆に資することのできるような指摘をおこないます。
第 3 講	論文の書き方（その 2）	前講を引き続き、論点の掘り下げ、第二次資料の利用方法を指導します。	第 11 講	論文指導	周到な準備のもとに、論文作成を続けます。
第 4 講	ニュースとは何か	ニュースとはそもそもなんでしょう。その基本、構造、特徴などについて学びます。	第 12 講	論文指導	周到な準備のもとに、論文作成を続けます。
第 5 講	ニュースとは何か(その 2)	ニュースは本当に現実を伝えているのでしょうか。ニュースの「品質」と、上手な活用について学びます。	第 13 講	ゼミ論最終確認	各自のほぼ完成した現行の論文内容と体裁の最終確認を行います。
第 6 講	アメリカのメディア・リテラシー	メディア超先進国アメリカの、メディア・リテラシー教育の様子を学びます。	第 14 講	ゼミ論発表	各自のほぼ完成した論文について短い口頭発表をし、お互いに質疑応答をします。
第 7 講	ゼミ論中間発表	現時点での論文の成果を発表、お互いに責任を持った研究仲間として今後の執筆に資することのできるような指摘をおこないます。	第 15 講	ゼミ論提出	ゼミ論の形式と内容を確認を確認し、提出します。
第 8 講	ゼミ論中間発表	現時点での論文の成果を発表、お互いに責任を持った研究仲間として今後の執筆に資することのできるような指摘をおこないます。	定期試験		ゼミ論文の提出を期末試験に代えます。
評価方法		ゼミ論中間、期末発表各 15%(計 30%)、ゼミ論文 70%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて授業中に指示します					